

第3期学校規模適正化推進計画（素案） 説明会

安芸高田市教育委員会
2024年4月

1

本日の内容

- 1 なぜ中学校を統合するのか
- 2 第3期安芸高田市学校規模適正化推進計画（素案）について
- 3 保護者アンケートの結果について
- 4 パブリックコメントの実施について
- 5 今後のスケジュールについて

2

1 なぜ中学校を 統合するのか

3

中学校統合の目的

生徒の教育条件の改善の観点を中心に
据え、**学校教育の目的や目標をより良く
実現するため**に行う。

4

安芸高田市の生徒につけたい力

〔想像・創造する力〕



〔協働する力〕



〔自分を知る力〕



5

現状の課題 ①

◆学級数が少ないことによる学校運営上の課題

- ・クラス替えができない
- ・人間関係が固定化する
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ・多様な意見に触れることが難しくなる など

6

現状の課題 ②

◆生徒数が少ないことで教育活動の質の維持が
困難となる

- ・ 集団活動・行事の効果が下がる
- ・ 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
- ・ 班活動やグループ分けに制約が生じる など

学校規模適正化委員会からの答申

(2010年4月)

◆安芸高田市においてのぞまれる学校規模

- クラス替えが可能な1学年複数学級
- 1学級あたりの人数は、20名から30名程度

2 第3期安芸高田市学校 規模適正化推進計画 (素案)について

計画(素案)の内容

- 1 策定に当たって
- 2 中学校を取り巻く状況
- 3 目指す学校教育の姿
- 4 配置計画
- 5 計画の推進期間
- 6 計画の具体化に向けて考慮すべき事項

1 策定に当たって

(抜粋)

中学校においては、1学年複数学級を見据え、教育条件の改善の観点を中心に据え、将来的に展望のある教育環境の整備を目的に、第3期の学校規模適正化推進計画を策定します。

2-1 中学校を取り巻く状況

(1)教育活動

集団規模が小さくなり、多様な考えに触れる機会を持ちにくい状況です。

(2)施設状況

これからの学校施設に求められる機能を既存校舎で確保するには、課題があります。

(3)部活動

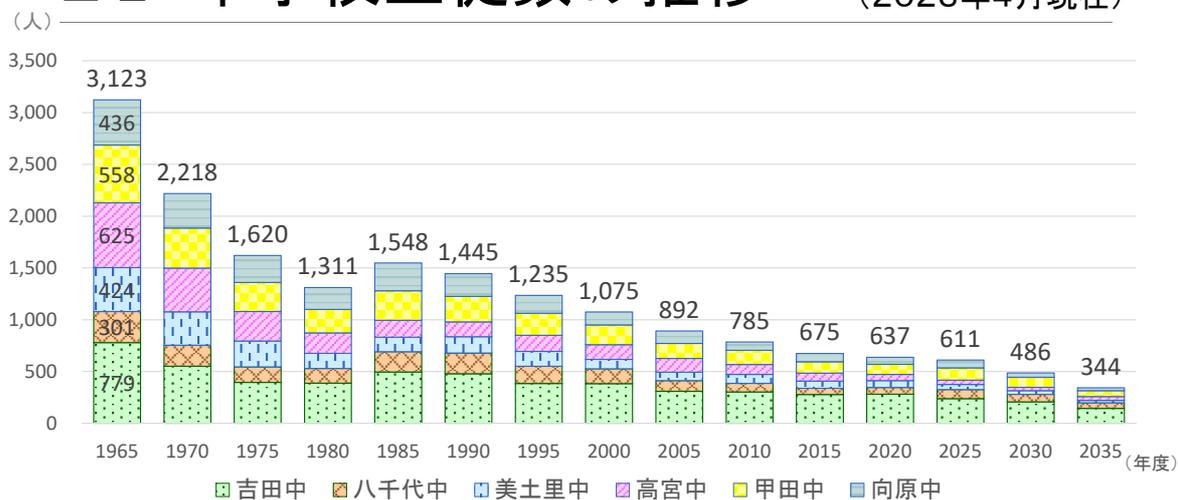
生徒数が少ない小規模校では、多様な部活動を作ることが難しく、選択肢が少ない状況です。

(4)教職員配置

学級数の少ない小規模校では、配置できる人数が限られています。

2-2 中学校生徒数の推移

(2023年4月現在)



13

2-3 校舎の状況

(2023年4月現在)

	吉田中学校	八千代中学校	美土里中学校	高宮中学校	甲田中学校	向原中学校
建築年月	昭和44年5月	昭和54年7月	昭和48年3月	昭和63年3月	昭和47年3月	昭和42年3月
経過年数	53年	43年	50年	35年	51年	56年
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準	新耐震基準	旧耐震基準	旧耐震基準
耐震改修年度	平成22年度完了	— (改修不要)	平成13年度完了	—	平成24年度完了	平成22年度完了
校舎面積	4,253㎡	2,114㎡	2,483㎡	2,580㎡	3,801㎡	2,596㎡
普通教室面積	64.8㎡	63.0㎡	63.0㎡	60.0㎡	56.27㎡	62.13㎡

14

2-4 部活動の状況 (2023年度)

部活動	吉田中学校	八千代中学校	美土里中学校	高宮中学校	甲田中学校	向原中学校
バスケットボール	男子 女子	—	男子 女子	—	女子	—
バレーボール	女子	男子	女子	男子 女子	—	女子
野球	○	△	—	△	△	△
サッカー	—	—	—	—	—	△
ハンドボール	—	—	—	—	男子 女子	—
ソフトボール	△	○	—	△	—	—

15

2-5 教諭等の配置①

通常の学級数	1	2	3	4	5	6	7	8
教諭等定数	4人	5人	7人	7人	8人	9人	11人	13人
通常の学級数	9	10	11	12	13	14	15	16
教諭等定数	14人	16人	17人	18人	19人	21人	22人	24人

通常の学級数の
教諭等定数



特別支援学級数



全教諭等の数

16

2-6 教諭等の配置②

【A中学校の場合】

通常学級3学級
教諭等定数7人



特別支援学級2学級



全教諭等の数9人

国語	社会	数学	理科	英語	保体	音楽	美術	技術	家庭	計
1人	1人	2人	1人	2人	1人	0人	0人	1人	0人	9人

1人は配置すること

4-1 配置計画 (案A:1校案)①

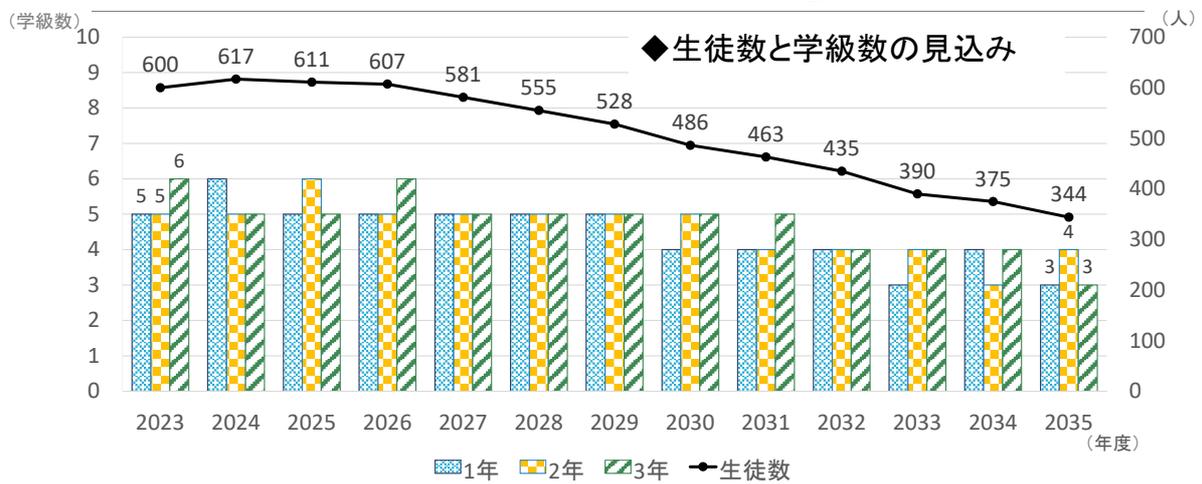
◆市内に1校(校舎を新設)

- ・吉田中学校
- ・八千代中学校
- ・美土里中学校
- ・高宮中学校
- ・甲田中学校
- ・向原中学校



統合校の名称
(仮称)安芸高田中学校
場所
吉田町内

4-1 配置計画 (案A:1校案)②



4-1 配置計画 (案A:1校案)③

◆1校に統合した場合の教諭等の配置

通常学級16学級
教諭等定数**24**人



特別支援学級**4**学級



全教諭等の数**28**人

国語	社会	数学	理科	英語	保体	音楽	美術	技術	家庭	計
4人	3人	5人	4人	5人	3人	1人	1人	1人	1人	28人

4-2 配置計画 (案B:2校案)①

◆市内に2校(既設校舎を利用)

- ・吉田中学校
- ・八千代中学校
- ・向原中学校



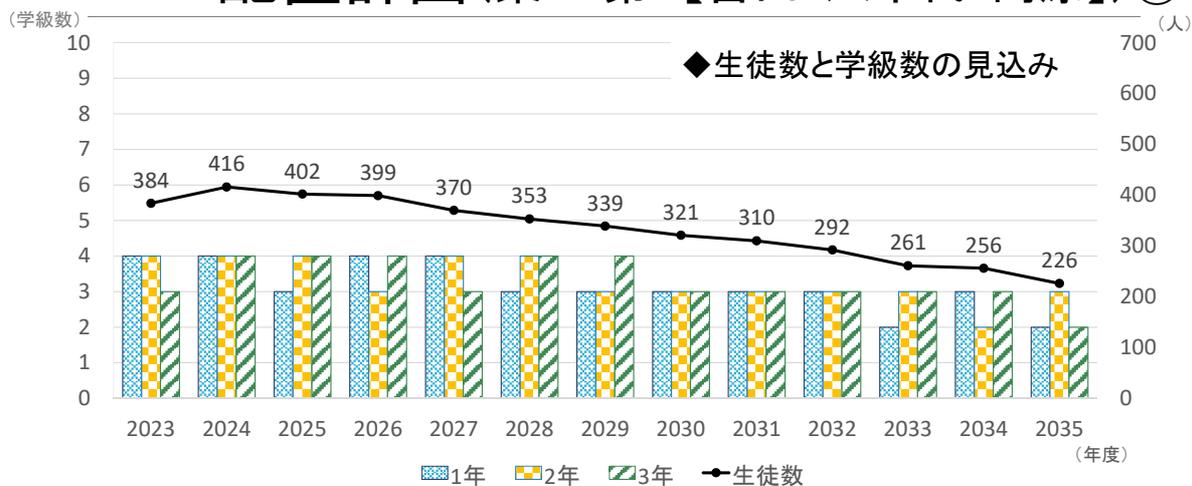
統合校の名称
(仮称)安芸高田第1中学校
 場所
現 吉田中学校

- ・美土里中学校
- ・高宮中学校
- ・甲田中学校



統合校の名称
(仮称)安芸高田第2中学校
 場所
現 高宮中学校

4-2 配置計画(案B:第1【吉田・八千代・向原】)②



4-2 配置計画(案B:第1【吉田・八千代・向原】)③

◆2校に統合した場合の教諭等の配置(第1)

通常学級11学級
教諭等定数 **17**人



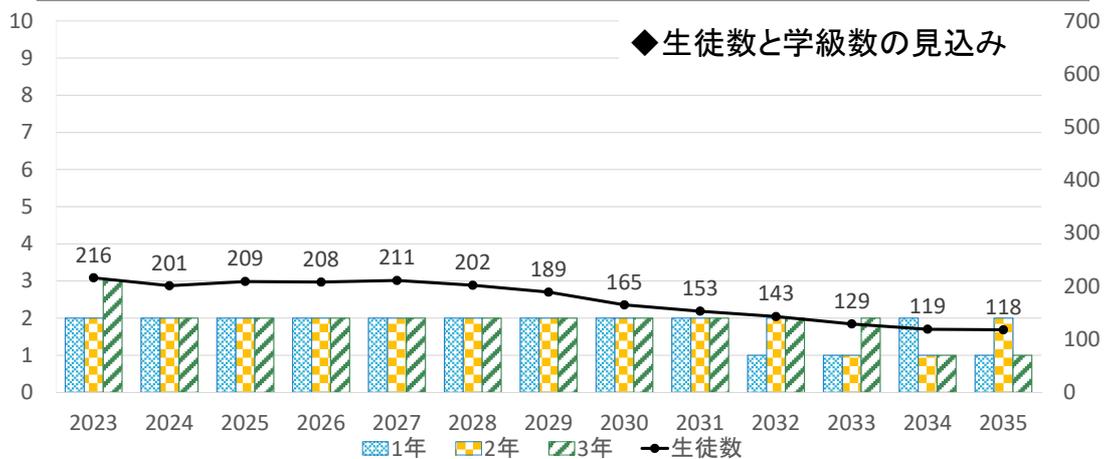
特別支援学級 **3**学級



全教諭等の数 **20**人

国語	社会	数学	理科	英語	保体	音楽	美術	技術	家庭	計
2人	3人	3人	3人	3人	2人	1人	1人	1人	1人	20人

4-2 配置計画(案B:第2【美土里・高宮・甲田】)④



4-2 配置計画(案B:第2【美土里・高宮・甲田】)⑤

◆2校に統合した場合の教諭等の配置(第2)

通常学級7学級
教諭等定数 11人

+

特別支援学級2学級

=

全教諭等の数 13人

国語	社会	数学	理科	英語	保体	音楽	美術	技術	家庭	計
2人	2人	2人	2人	2人	1人	0人	0人	1人	1人	13人

5 計画の推進期間

計画の推進期間は、
2024年度から2028年度までの5年間
とします。

6-1 計画の具体化に向けて考慮すべき事項

(1) 通学条件の整備

生徒の通学時間は、概ね1時間を目途とする

(2) 教育条件の整備

生徒一人一人が安心して学べる学校環境を整える

(3) 計画の円滑な推進

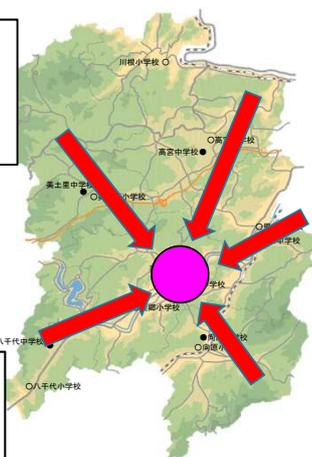
「子どもたちを中心に据えた」協議を真摯に進める

(4) 学校施設の利活用等

地域のコミュニティの核としての性格を有していることから、地域住民と丁寧な議論を進める

6-2 路線バス+通学バスを運行 ※吉田中学校までの距離をGoogle mapで計測

美土里中学校 13.8km
北郵便局 20.2km
生桑郵便局 21.1km



高宮中学校 18.3km
川根小学校 26.6km
旧船佐駅 29.0km

甲田中学校 8.5km
深瀬バス停 12.7km
糠地バス停 14.9km

八千代中学校 10.9km
黒瀬バス停(土師ダム) 10.9km
八千代小学校 14.3km

向原中学校 8.9km
ひとは福社会前 12.6km
旧有保プール 13.9km

6-3 朝は1便、夕方は2便のバス運行案

経路地を少なく各方面の運行経路を増やす



29

6-4 通学パターンとグループ分け

パターン	グループ分け	現中学校からの距離			
パターン 1	吉田グループ (吉田・八千代・美土里)	八千代～10.9km	美土里～13.8km	(平均 12.4km)	平均 11.8km
	甲田グループ (高宮・甲田・向原)	高宮～ 12.5km	向原～ 9.7km	(平均 11.1km)	
パターン 2	吉田グループ (吉田・八千代・向原)	八千代～10.9km	向原～ 7.1km	(平均 9.0km)	平均 10.6km
	高宮グループ (美土里・高宮・甲田)	美土里～11.8km	甲田～ 12.5km	(平均 12.2km)	
パターン 3	吉田グループ (吉田・八千代・美土里・高宮)	八千代～10.9km	美土里～13.8km	(平均 13.8km)	平均 11.8km
	甲田グループ (甲田・向原)	向原～ 9.7km		(平均 9.7km)	
パターン 4	吉田グループ (吉田・八千代)	八千代～10.9km		(平均 10.9km)	平均 13.2km
	高宮グループ (美土里・高宮・甲田・向原)	美土里～11.8km	甲田～ 12.5km	(平均 15.4km)	
		向原～ 21.9km			

30

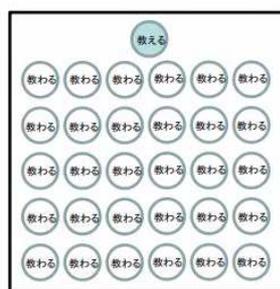
6-5 通学の課題解決に向けての支援・工夫

- 6 km以上の通学については通学支援（無料でバスに乗れる、定期代の補助等）を行う。
- 5時間授業により部活動時間を確保する。

31

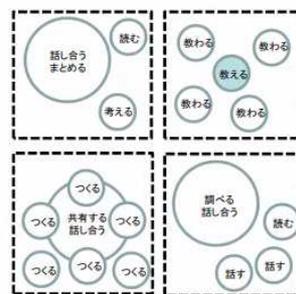
6-6 新しい学びは 「個別最適な学びと協働的な学び」

従来型の学び



- ・「教える－教わる」の一方通行
- ・知識習得重視
- ・「教えるための教室環境」

新しい学び



- ・自主的に学び方、学ぶ場を選ぶ
- ・多様な学習方法が混在
- ・「学ぶための教室環境」

32

6-7 ICT の活用など 学びのスタイルが多様化



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(文部科学省令和4年3月)より

33

6-8 学び方が変わってきている

大型スクリーンとしても
利用可能な内装仕上げ

多様なスタイルに対応
する固定・可動式プロ
ジェクタ付きスクリーン



複数のグループでの
利用を可能にするフ
レーム(空間の分割、
機器の取り付け)

移動が容易な机椅子

室内レイアウトを容易
に変更でき間仕切りと
しても利用する大型ス
クリーン

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(文部科学省令和4年3月)より

34

6-9 ICTの活用やバリアフリーを完備した 特別支援教育の充実



35

6-10 個別スペース・くつろぎスペース を確保



安芸高田市立美土里小学校



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」
(文部科学省令和4年3月)より

36

6-11 持続可能な施設・設備



37

3 保護者アンケート の結果について

38

保護者説明会の開催状況

第1回 2022年4～7月

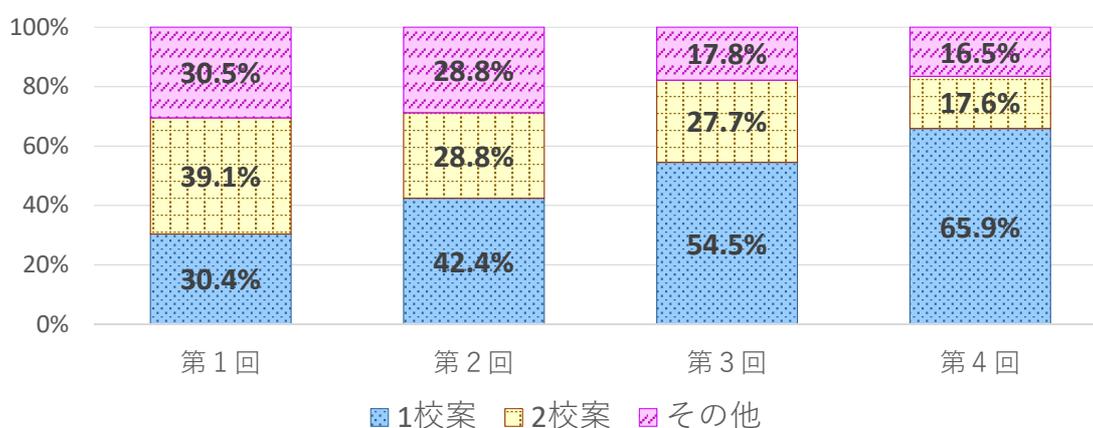
第2回 2022年12月、2023年4月

第3回 2023年6～7月

第4回 2023年12月

39

校数について、どのように考えているか？



40

4 パブリックコメントの 実施について

41

パブリックコメントの実施について

1 目的

本市の中学校(6校)の統合に関する計画(素案)について、広く市民等から意見募集をするもの。

2 意見募集期間

2024年5月1日(水)~5月31日(金)

3 計画(素案)の閲覧場所

市HP、市教育委員会、各文化センター、各支所

4 意見の提出方法

Eメール、郵送、FAX、持参

42

5 今後のスケジュール について

43

今後のスケジュールについて

2024年5月	パブリックコメントの意見募集
2024年6～7月	パブリックコメントの意見集約
2024年8月以降	・第3期安芸高田市学校規模 適正化推進計画の策定 ・推進計画の周知

44